

令和7年度第2回  
八千代市総合計画審議会  
会議録

八千代市総合計画審議会

# 令和7年度 第2回 八千代市総合計画審議会

- 1 開催日時 令和8年3月9日(月) 午前10時00分から午前11時10分まで  
2 開催会場 八千代市役所旧館4階第1委員会室  
3 出席者 ◇ 八千代市総合計画審議会委員

会 長	日本大学理工学部非常勤講師	藤 井 敬 宏
委 員	公募委員	武 田 美 保
	公募委員	周 郷 綾
	東京成徳大学応用心理学部教授	出 雲 輝 彦
	秀明大学総合経営学部教授	森 中 祐 治
	日本大学理工学部教授	江 守 央
	八千代市自治会連合会会長	栗 根 秀 光
	八千代市子ども会育成連絡協議会会長	八 卷 憲 一
	八千代市社会福祉協議会事務局長	村 田 和 子
	八千代市長寿会連合会会長	渡 部 正 敏
	八千代市芸術文化協会理事	鐘 水 知 子
	千葉銀行大和田支店支店長	三 浦 浩 幸
	東邦シートフレーム労働組合執行委員長	鈴 木 明
	株式会社ジェイコム千葉YY船橋習志野局局長	上 野 隆 史
欠席委員	公募委員	榊 原 伊 織
	八千代商工会議所会頭	周 郷 寿 雄
	八千代市スポーツ協会会長	上 代 修 二
	八千代市農業協同組合専務理事	櫻 井 良 夫
	八千代市医師会会長	櫻 川 浩
	千葉県葛南地域振興事務所所長	相 葉 正 宏
	税理士	隅 田 容 代

◇ 事 務 局

企画部長	赤城 哲寛
同部次長	加瀬 充男
企画経営課主幹	岩田 淳
同課副主幹	古市 雅之
同課主査	沼尻 有美子
同課主査補	中川 修
同課主査補	鈴木 教央
同課主査補	津村 健太
同課主査補	加納 雄二

4 公開・非公開

公開

5 傍聴者（定員 5 名）

なし

6 議題

(1) 第 5 次総合計画前期実施計画における取組の改善に向けた対応状況について

(2) 令和 8 年度に八千代市が実施する主な事業について

(3) その他

7 会議資料

資料 1 八千代市第 5 次総合計画前期実施計画【令和 6 年度版】令和 6 年度事業効果検証結果報告書

資料 2 総合計画審議会意見に対する対応状況について（令和 6 年度事業の効果検証）

資料 3 令和 8 年度に八千代市が実施する主な事業について

資料 4 令和 8 年度総合計画審議会スケジュール

## I 事務局より

○事務局（加瀬次長）

本日は、お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

定刻になりましたので、始めさせていただきます。

本審議会は、公開の会議となっております。また、会議録作成のため、音声を録音させていただきますので、ご了承ください。

それでは、会議に先立ち、資料を確認させていただきます。

まず会議次第、席次表、資料 1「八千代市第 5 次総合計画前期実施計画【令和 6 年度版】令和 6 年度事業効果検証結果報告書」、資料 2「総合計画審議会意見に対する対応状況について（令和 6 年度事業の効果検証）」、資料 3「令和 8 年度に八千代市が実施する主な事業について」、資料 4「令和 8 年度総合計画審議会スケジュール」でございます。

資料 1, 2, 3 は事前に配布させていただいたものとなります。

配付漏れなどございましたら、事務局までお声がけください。

次に、今回新たに委員となり初めて審議会に出席されました、鈴木（スズキ）委員、今回の体制になってから初めて出席されました出雲（イズモ）委員、森中（モリナカ）委員、渡部（ワタナベ）委員に自己紹介をお願いしたいと存じます。

では、鈴木委員、よろしくお願いいたします。

○各委員

【委員自己紹介】

○事務局（加瀬次長）

ありがとうございました。

なお、本日は周郷寿雄委員，榊原委員，上代委員，櫻井委員，櫻川委員，相葉委員，隅田委員におかれましては所用のため欠席とのご連絡をいただいております。

それでは、八千代市総合計画審議会条例第6条第1項の規定により、会議の進行について、藤井会長にお願いしたいと存じます。藤井会長，よろしくお願いたします。

○藤井会長

それでは着座にて失礼いたします。

新規の委員もいらっしゃるということで，少し自己紹介させていただきます。

私は，八千代市の総合計画の審議会のほうは数年前から関わらせていただいております，今年度から会長職を仰せつかりました。

日本大学理工学部交通システム工学科を退職し，現在非常勤という形で大学と関わらせていただいております。私の住んでいるところから八千代市は車で30分弱ほどの地域ですので，地域の問題についても取り組んでまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

早速ですが，以前からこの八千代市の総合計画審議会の印象として，委員の皆様方の意見が少ないというものがございます。前回の第1回目の会議のときには，皆様に遠慮なくお話しいただきたいということで，皆様一人一人の想いを語っていただくという場を作らせていただきました。

今後も，様々な審議の過程で，皆様が専門の分野でお持ちの知見を存分に市政の中に反映していただくという想いを持って，本当にこれで良いのかと悩まれる場面もあろうかと思いますが，そのあたりは私の専門が交通計画でございますので，交通処理はこちらのほうでさせていただきます。遠慮なくお話をいただければと思いますので，どうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速でございますが，本日の出席委員は14名で会議を進めてまいります。

八千代市総合計画審議会条例第6条第2項の規定による定足数に達しておりますので，成立という形で進めさせていただきます。

それでは，この後は次第に基づきまして，議事を進めてまいりたいと思います。

## II 議事

### 【議題】

- (1) 第5次総合計画前期実施計画における取組の改善に向けた対応状況について
- (2) 令和8年度に八千代市が実施する主な事業について
- (3) その他

### (1) 第5次総合計画前期実施計画における取組の改善に向けた対応状況について

#### ○藤井会長

まず初めの議題1「第5次総合計画前期実施計画における取組の改善に向けた対応状況について」事務局よりご説明をお願いいたします。

#### ○事務局（加納主査補）

それでは事務局より、議題1「第5次総合計画前期実施計画における取組の改善に向けた対応状況について」ご説明させていただきます。

恐れ入りますが、着座にて説明させていただきます。

資料1をご覧ください。

#### 【資料1】の説明

今回、議題1では、審議会意見に対して各事業でどのような対応を行った、又は今後行うのかなど、対応状況について資料2の表の一番右の欄に取りまとめております。本来であれば全ての事業について、ご意見と対応状況を読み上げさせていただくところですが、時間の関係もございいますので、ご意見を踏まえ、反映又は対応している主な事業についてご報告させていただきます。

#### 【資料2】の説明

その他意見として、本市の観光分野についてご意見をいただいておりますが、現在、令和8年4月に開催予定の「2026全国さくらシンポジウムin八千代」の開催に向けて準備を進めております。本シンポジウムを通じて、「花の観光都市やちよ」をさらに推進するとともに、三大祭への支援や、市内イベントへの後援等を引き続き実施してまいります。

抜粋して主な対応状況についてご報告させていただきました。議題1の説明は以上となります。

○藤井会長

ただいまご説明いただきました資料2について、前回いただいた意見の中で主だったものをご紹介いただきました。事前配布していただいた資料でございます。

お気づきの点などあれば、ご質問ご意見等いただければと思いますが、いかがでしょうか。では、渡部委員どうぞ。

○渡部委員

八千代市長寿会連合会の現会員数は2,335名で、千葉県内の53市町村の老人クラブ連合会において、4年連続して会員数が増えているというのは八千代市長寿会連合会のみです。

また、後継者がいないという点は非常に問題になっている一方で、八千代市内には43の老人クラブがあります。特に今私が非常に懸念しているのは、デマンドタクシーの問題についても後ほど述べさせていただきますが、まずは空家の問題に関して触れさせていただきます。空家は市の市街地に600件程度あると聞いておりまして、居場所づくりという観点で、各町内に空家が目立ってきていることもあり、何とか行政でも少し手入れをしていただいで、日常的にそこで様々なサークル活動をできるようにすれば、地域の安心安全のためにもつながるのではないかと考えておりますので、意見として申し述べさせていただきます。

○藤井会長

先ほどご説明がございました、1ページ目の下から二つ目に記載がある空家対策に関連したご意見でございますね。事務局は、ご意見という形で承っていただいでよろしいですか。よろしいようですので、その他いかがでしょうか。

では、鎌水委員どうぞ。

○鎌水委員

資料2の2枚目、下から二つ目の項目についてですが、文化・スポーツ課に対して、市民ギャラリーから村上駅までの案内看板をつけて欲しいという要望を出したものに対し、回答が「検討はありません」となっております。

何回もお願いはしておりますが、看板を全面につけて欲しいという要求ではなくて、市民ギャラリーの前の大きな十字路のどこか1か所に、村上駅に続く道がどこにあるかわかるような看板を1枚立てていただきたいという依頼ですので引き続きご検討をお願いいたしたく、ご意見申し上げます。

○藤井会長

事務局この点はいかがでございますか。

○事務局（鈴木主査補）

本件については、担当部局のほうに毎回お伝えはしておりますが、引き続きお伝えさせていただきます。

○藤井会長

全面ということではなくてその入口といったところの意思是、担当課にもきちんと伝わっているという理解でよろしいでしょうか。

○事務局（鈴木主査補）

前回の総合計画審議会では、入口だけという話を伺った認識ではないので、その部分は改めて担当部局へ伝えさせていただきます。

○鍵水委員

まず、文化・スポーツ課の担当者に看板の設置をお願いしたところ、検討するとの回答でしたが、この資料を見ると、検討しないとの記載があり、窓口での受け答えと違うという違和感を覚えました。担当の方と一緒に十字路を確認した上で入口に看板を1枚つけるだけでいいですということをお願いしており、そこまで大きな要望はしておりませんのでとにかく市民ギャラリー前の十字路に看板を設置することについて、よろしくお願ひしたいと思います。

○藤井会長

それでは、その他の方がいかがでしょうか。

では、江守委員どうぞ。

○江守委員

私は日本大学でバリアフリーや歩行者空間などを専門にしております。歩行者空間の今後ということで、国交省では、次にデジタルインフラという言葉を使って、インフラのデジタル化をどうアーカイブ化・オープンデータ化していくかについて議論をしています。

これは八千代市でも導入されていますが、都市局がやっているPLATEAU（プラトー）という仕組みが代表例です。三次元空間をデジタル化して、様々なものに使っていくためのオープンデータ化が進んでいるという状況です。

これは総合計画における「計画の推進のために」のうち、「4章 スマート自治体の推進」に通じるかと思いますが、例えばマイナンバーのようなデジタル化とはまた別で、自分たちが持っている道路や都市空間をどのようにデジタル化、オープンデータ化していくかということが、次の時代のインフラ整備に求められてきています。

これを進めるためには、デジタル化を進める人材をどう確保していくかというところか

らスタートしなければなりません。

資料2の中には、対応状況ということで、「DX推進員の活用や職員向けのDX研修を通じ、職員一人ひとりのDXに対する理解と意識の向上を図る」との記載があります。それも非常に重要な側面ではあるかと思いますが、一方でそういったデジタルアーカイブに対してどのように取り組んでいくかということ、部署的に対応するというような行政も出てきています。

PLATEAU（プラトー）を見てもらえばわかると思いますけれども、デジタル化の詳細なところまで進んでいる行政は千代田区だとか、八千代市もそれなりになっているとかが一見してわかってしまうので、他の行政に追い越せまでいかななくてもいいと思いますけれども、そういった素養がこの市にもあるということ、少し準備する必要があるかなと思っています。

雲を掴むような話かもしれませんが、デジタル化されたデータを、高齢化対策や移動支援にどのように使っていくかというところも、素養だということです。

今までは実際の空間の中で道路を整備していくことが、非常に重要で、穴が空いている場所を整備するところが土木部門としては非常に重要な視点だったかと思いますが、今後はそういったデジタルツールを使うための基盤を整えていくのが行政の役割になってきており、このICT推進というのは非常にドラスティックに考えていかなければならないと思っております。

それから、高齢者対策ということでタクシー券について、私も八千代市で福祉有償運送の運営協議会の会長をやっていますので、少し気になるところであります。

要は、タクシー券を配布して解決だと思わないで欲しいということで、それはあくまでも手段だということです。高齢者の方が何を望んでどういうところに移動することが生活の基盤になっているのかということ、じっくり見る必要があるでしょう。そのため、タクシー券の利用についてはどのような人がどこからどこに移動しているか、あるいはどこからどこに移動したいのか、それがあって長生きできそうなのかということ、少し見ていただきたいなと思っております。

これが私の意見でございます。以上です。

○藤井会長

どうもありがとうございました。

大きく2点のご意見でございますが、事務局いかがでしょうか。

○事務局（岩田主幹）

ご意見ありがとうございます。

ICTの推進につきまして、今は基盤整備まで行っていない状況ですが、基盤整備後にどう生かせるかという観点での職員教育が必要だというご意見は私も同感です。八千代市で

は統合型GISを一昨年導入して、道路情報をデジタル化しておりますけれども、まだ今そういう段階ですので、今後全庁的なITリテラシーの向上も含めて、担当部局のほうにも、申し入れをしていきたいと考えております。

高齢者タクシー券のほうも、江守委員がおっしゃるとおりで、誰が使うかどのように使うかというのが当然前提としてあり、それに合わせて、利用しやすい券にしていくのが重要かと思っておりますので、こちらも担当部局のほうに進言してまいりたいと考えております。ありがとうございました。

○藤井会長

それでは、その他の方がいいでしょうか。

では、森中委員どうぞ。

○森中委員

事務局の説明の中で、その他意見として、観光分野にも力を入れて欲しいというお話がございまして、資料2の最後のページのところで、「2026全国さくらシンポジウムin八千代」の開催に向けての話がございました。

秀明大学には、観光ビジネス学部という、観光に特化した学部があります。

地域連携活動への参画ということで、八千代市役所と連携し、この2026全国さくらシンポジウムin八千代に、4月2日及び3日に参画をすることになっております。

シンポジウム当日の4月3日、現地見学会にて学生バスガイドを実施する予定ということで、本学から4名の大学生が参加させていただきます。

少し大学の宣伝のような話になりますが、地域連携ということで、大学としても、市に、あるいは八千代市民に貢献できる大学というのを目指しておりますので、慣行にとらわれず、大学のほうでできるものはないかと今連携協定に向けて打ち合わせをしております。皆さまも、そういった観点から、何かご要望などがあれば、ご連絡いただければと思います。

以上です。

○藤井会長

ありがとうございます。

積極的に関わっていただけると言ったところでございますので、ぜひ事務局はいろいろ相談をかけていただけるとありがたいなと思います。

やはり、地元の大学とのこういった関係は非常に大事でございます。

フィールドワークという形で学生もそこで育つ、また愛着を持つ、また戻る、今いろいろな形で行政に関われるところでございますので、ぜひうまく、事務局として活用してもらうよう取り組んでいただければと思います。

その他いかがでございましょう。

はい、渡部委員どうぞ。

○渡部委員

何度もすみませんが、この裏面のほうで少しお聞きしたいのですが、デマンドタクシーの実証実験うんぬんの対応状況及び回答のところ、後ほど八千代市が実施する主な事業についてでも触れようかと思っていたのですが、検討するとかそういう項目がいろいろありますが、これはいつまでにどういう形にするのかということを決めていただきたい。資料では「検討します」や「考えております」といった文字が非常に多いと感じております。この点はすごく気になります。

以上です。

○藤井会長

事務局いかがでしょうか。

○事務局（岩田主幹）

行政は予算がつかないと何も進まないところもございまして、なかなか「やります」という断言が難しいというところは、ご理解いただきたいところでもございます。ただ、極力そういう形で皆さまにご提示できるように努めてまいりたいと思います。申し訳ありません。

○事務局（赤城部長）

もう少し補足させてもらいます。

総合計画というのは八千代市の計画の中で最上位計画となっておりますので、ここに載せたということは、将来的に市として実施していく事柄であること、今までの各部局ごとの計画とは異なり、1個上のランクに進んでいるとご理解いただければと思います。

よろしく申し上げます。

○藤井会長

今、市の最上位計画というお話がありましたが、その中でも年次計画にブレイクダウンした実施計画で単年度評価をしていくものなのですが、単年度の実績としてはできた、できなかったという判断と、それからある目標年限に向かってここまでアップデートしましょうといった目標設定に対してどこまで達成できたか。この辺の評価との兼ね合いで見ていかなければなりません。そのときに、予算の流れといったものと、事業の計画、例えば都市計画道路をつくるというものの場合、道路用地を確保しなければ前には進まない。そうすると、道路用地が確保できないまま計画が進んでいって、10年先になってしまうかもしれません。それは事業が進んでいるという点では間違いないものの、調整がつかないというそういったレベルの実施計画もあれば、単年度で結果が出てくるものもあります。

行政計画の中には、その評価の仕方がやはり個別で違うのがありますから、それをどういう形で、委員の皆様方にも見やすくして、工夫して伝えていただくか、これが非常に大事だと思いますね。

特に今回、後ほどご説明があるかと思いますが、総合計画の前期実施計画の効果検証といったキーワードがついています。

効果の検証はどうするのというときに、予算がついた形の中でできたもの、まだできていないというものがあるのですが、それぞれの事業計画という形で出てくるものと、最後のほうに折り込みで入ってくるものがあり、全体の年次計画の中で動いたときに、どの事業がそのまま止まっているのか、あるいは100パーセント達成に近づいたのか、これを総覧で見られるような指標もございますので、そういった中で、各事業がどういうレベルかということをかみ砕く形で少し事務局でもご説明いただくと良いかと思います。

予算がつかなければ事業ができないことはもう皆さまご理解いただいていると思いますが、事業の完了に向けて前に進んでいるのか進んでいないのか、そういったところの肌感覚でも伝えていただくと、「そうかしょうがないな」と首を縦に振るしかなくなるというところもございますので、そのバランスをぜひ事務局でご検討いただけるとありがたいなと思います。

その他いかがでしょうか。

私のほうから一つ、先ほどPLATEAU(プラトー)の話が江守委員からありましたが、私も随分気にしているところです。

他の自治体のほうでPLATEAU(プラトー)という、都市の基盤を3Dでデジタル的に表現をするということで、私も関わっている都市計画道路ネットワークのところでもPLATEAU(プラトー)を使ったデータを少し拝見させていただいたのですが、他の自治体では市の職員が変わったことによって、PLATEAU(プラトー)が眠ってしまったという自治体もあるようです。

八千代市は眠っているのか眠っていないのかまだよくわかりませんが、様々な形の場で使えるインフラの基盤になるものがございますので、担当者が変わったら使えなくなる仕組みであつたらいけないので、せつかく国の予算が入って作られており、八千代市は千葉県の中でも確か、PLATEAU(プラトー)を導入している唯一の自治体だだと思いますが、そういった中で予算化されて基盤づくりがされたところですので、千葉県内唯一として、千葉県を先導していく八千代であつて欲しいなと思いますので、その辺は事務局のほうでも、思いを持って取り組んでいただきたいです。

総合計画は、首長の想いを市の最上位計画でブレイクダウンしていく、そういった計画でございますので、次の計画の位置付けの中の想いを下から上げていくのは難しいと思いますが、PLATEAU(プラトー)はあくまでも一つの例としてお話しましたが、他の分野に関しても同じようなものがあるかもしれませんので、他の委員の皆さまにおかれましては、ぜひそういった点がありましたら、ちょっと漠然としたものだけでもこんな想いだけ伝

えておきたいといったようなことがあれば、遠慮なく、その都度言っていただければと思います。

○事務局（赤城部長）

今お話があったPLATEAU（プラトー）について、私ももともと都市整備部で導入に関わっていたメンバーなので、少しお話させていただきます。

藤井会長がおっしゃったように、担当者が変わるとどうなるのか、というところはあると思いますが、実際導入したときに目的があって導入したのは事実です。

その後、実際に活用しようとしたときに、すべていくらかお金がかかるものでした。

例えば道路情報を見るのに、様々な車関連の会社がデータを持っているのですが、それを活用するためにも全部お金がかかるということがわかってきて、活用に当たっては国がもう少し補助金を出してくれると使いやすくなると思っております。その現状の中で、私は事業者に対して、実験でもいいから使ってくれとお願いをしているのですが、使い勝手の面で、事業者側も悩んでいると聞いています。

そのため、どのように活用するかについても今後また検討を進めていくべきことだと思っております。

○藤井会長

デジタルインフラについては、今難しい領域の中で進んでいるのですが、八千代市はそれを眠らせず、活用に向けて前に進める努力を継続してほしいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(2) 令和8年度に八千代市が実施する主な事業について

○藤井会長

それでは、続きまして、「議題2 令和8年度に八千代市が実施する主な事業について」、事務局よりご説明お願いいたします。

○事務局（津村主査補）

それでは、事務局より「議題2 令和8年度に八千代市が実施する主な事業について」をご説明させていただきます。企画経営課の津村と申します。恐れ入りますが着座にて説明させていただきます。

「資料3」をご覧ください。

【資料3】の説明

説明は以上となります。

○藤井会長

ただいま、新規事業といったところを中心にご説明いただきましたが、ただいまのご説明に関しまして、何かご質問やご意見等ございましたら承りたいと思いますが、いかがでしょうか。はい。八巻委員お願いします。

○八巻委員

新規事業で学校のLED照明化ということで、予算措置されていると思いますが、おそらく2027年に蛍光灯も製造が終了する状況の中で、予算規模が非常に少ないように感じます。学校はおそらくほぼLEDになっていない状況だと思いますが、蛍光灯の製造終了までにこの予算でいけるのかという点やどういった計画になっているかお伺いしたいと思います。

○事務局（岩田主幹）

担当部署に確認したところ、この予算で令和8年度中に小学校19校すべて、中学校11校すべて完了すると聞いております。

○八巻委員

ちなみに市役所や公民館を含めた八千代市内の施設の多くがまだ蛍光灯かと思いますが、そちらのLED化についてはいかがでしょうか。

○事務局（岩田主幹）

私の知っている限りでは、総合生涯学習プラザであったり、今進めている市民体育館であったり、逐次LEDに置き換わっているものと認識しております。

詳細まではわかりかねますが、八巻委員がおっしゃったように、もう使えなくなるものもございますし、省エネのこともありますので、適宜交換を進めているものと認識しております。

○藤井会長

その他いかがでございましょうか。

よろしいですか。はい、渡部委員どうぞ。

○渡部委員

二つ質問がございます。一つは、地域福祉、高齢者支援でデマンドタクシーの実証実験というのが、対応状況回答に入っている一方で、令和8年度に八千代市が実施する主な事業の事業費には入っておりませんが、予算の状況についてお伺いしたいです。

それからもう一つ、これは非常に良いことだと思いますが、高齢者ヒアリングフレイル対策事業ということで、新規で具体的にどういった取組を考えているのかお伺いしたいです。

今八千代市は5人から6人に1人が一人暮らしで、5人に1人が認知症であります。こういった状況で、やはり難聴による認知症も当然あるので、非常に心配しております。

認知症に関しては、長寿支援課ともやりとりをしておりますけれども、徘徊者も非常に多くなってきており、八千代警察に月どのくらい徘徊者がいるか聞いたら、延べで12から15人とのことでした。同じ人が何回も徘徊する場合がありますから、そういったことも含めて、この問題は詳しくお聞きしたいと思った次第です。

○藤井会長

事務局いかがでしょうか。

○事務局（岩田主幹）

まずデマンド交通につきましては、今のところ予算措置がなされていないものと伺っております。

続きまして、ヒアリングフレイルにつきましては、難聴が原因による認知症については私もよく存じておりますが、具体的な事業内容につきましては、こちらにも記載のとおり、補聴器購入費用の助成や補聴器をつけた後のフォローアップなどを一体的に行うと聞いております。

○渡部委員

よろしくないですよ。ものすごく困る話です。

デマンドタクシーの実証実験をやると言っていたのに、予算がないというのは、今後市としてどうしていくつもりなのでしょうか。予算がないということで実証実験はしないという方向性なのかお伺いしたいです。

○藤井会長

事務局、そのあたりは回答可能でしょうか。

○事務局（岩田主幹）

我々としても、予算が今のところ計上されていないというところですが、詳細については所管部局ではないので、今の段階ではわかりかねるというのが現状でございます。

○渡部委員

会長、この総合計画審議会というのは、こういったことを、問題としてどうしていくのかということ具体的に議論する場で、事務局から「検討中です」と、それこそ発表だけで終

わっても、私が老人会の会合で報告しなくてはなりません。

今デマンドタクシーについて予算が計上されていないという報告は老人会ではできないですよ。参加している皆さまもそう先が長い人間じゃないですから。

要はそういう心配があります。

#### ○藤井会長

基本的に総合計画は上位計画という形で、構想、それから基本計画、そして実施計画という形で、3層構造で動いています。その中で今お話があった予算が計上されるかどうかというのは実施計画レベルの単年度ごとの予算決算という形になりますね。

特に今の実証実験という話になってくると、八千代市は地域公共交通会議という法定協議会を持っています。国から予算をもらって実施していくのか、あるいは市の予算を含めた形で実施するのか、そういったようなことを、その法定協議会の中で議論します。

デマンドタクシーの件については、市の補助金が必要ということでの申請で、おそらく先ほど予算が今のところ計上されていないというご報告だったと思います。

そうすると、この総合計画審議会ですべて実施できるかできないかの判断ということには直結せずに、地域公共交通会議に差し戻して考え方の計画再検討ということにならざるを得ません。

地域公共交通会議において、実施計画の中で、実証実験という形でやろうとしていた計画をそのまま進めるのか、他の予算といったものも確保しながら進めるのか、あるいは、国の予算といったものを求めてもらえたら、その範疇ちゆうの中に規模を縮小してやるのか、あるいは計画そのものをやめてしまうのか、他の代替する仕組みのほうに転換するのかといったようなことを法で定めた協議会において議論した上で、この市の議会等に報告をするという、そういった流れになってまいります。

そのため、総合計画審議会において事務局としてはまだわからないというのは、やむなしの話だと思っています。

そもそも、地域公共交通会議は年に3回ぐらいしか開催されない中で、議論した結果を、この総計審の事務局である企画部に持ってくるという形になりますので、そこで改めて、例えば出てきた結果報告に対して、委員の皆様方に、今回の回答できなかったことについては、こういった方向性になりましたといったようなことを、改めて情報発信をする、というアプローチを取るしかないというのが現状でございます。

事務局は、そういったところまでのフォローアップを丁寧に、担当部署との調整を図っていただきたいといったところでございます。

こういった事情もご理解をいただかないといけないところがあるので、少し時間軸がちょっとずれた形でのアナウンスになってしまうかもしれませんが、その点は事務局のほうで改めてご報告いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それではその他いかがでございますか。

皆さま、納得しきれなかったところがあるかもしれませんが、特に新規事業に関するご意見はよろしいでしょうか。

今年度新しいものが動き出すといったところでございます。特にカタカナ文字が並んだようなものが、新たな施策としても入り込んできておりますので、先ほどのご質問の中にも少しございましたが、事業展開するときには少しその辺の説明も少し柔らかくしていただきながら進めていただければありがたいと思います。

それでは、ご意見ご質問等がないようでございますので、資料3に基づく、新規事業につきましては以上とさせていただきます。

### (3) その他

#### ○藤井会長

それでは、議題としては最後でございます。「その他」でございます。

本審議会に移管することにつきまして、委員の皆様方から何かございましたら承りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

特にないようでございますので、事務局のほうから来年度に向けたスケジュールも含めて、少しご説明いただければと思います。

#### ○事務局（鈴木主査補）

それでは、その他といたしまして、来年度の審議会についておしらせいたします。資料4をご覧ください。

#### 【資料4】の説明

第6次総合計画につきましては、本審議会でも議論を重ねながら一緒に作り上げていければと考えておりますのでご協力お願いいたします。

その他につきましては以上となります。

#### ○藤井会長

ただいまご説明いただきました、何かご質問はございますでしょうか。

上野委員どうぞ。

#### ○上野委員

本日はご説明ありがとうございます。質問ではないのですが、次回のお願いで資料を紙ではなくデータで送っていただくことは可能でしょうか。

○事務局（鈴木主査補）

承知いたしました。

○藤井会長

今自治体では、ペーパーレス化が非常に進んでおります。やはりペーパーでないとわからないという方以外はもう、データに転換しているというところもございますので、事務局はその辺も含めて次のプロセスのときどうするか、ぜひ検討いただければと思います。

その他いかがでございますか。

それでは私のほうから、総合計画に関して次の計画策定について少しお話させていただきます。

皆様方にはこれから、次の第6次総合計画を作るといったときに、様々なご意見をいただきたいと、前回の総合計画審議会でお話させていただいたと思います。

現在八千代市の総合計画は、全体で8年の計画となっており、それを前期後期の4年ずつに分け、さらに実施計画で構成されておりますが、計画期間について、他の自治体と比較するものではないものの、どうしても基本計画と実施計画が非常に近いので、八千代市の上位計画としてどのような将来像に向かっているかというベクトルを示すときに、時間軸が若干短いという懸念がずっとございました。

そういったところについては事務局にもいろいろお話をさせていただいておりますが、総合計画審議会の委員の皆様でじゃあ12年にしましょうとか20年にしましょうとお諮りするものではなくて、姿勢として、将来八千代市の方向性はどのような計画づくりでやるのかということ、首長と事務局、つまり企画部門で、将来の八千代市を考えたときに、10年なのか12年なのか、あるいは今のまま、4年のローリングで、淡々と実施計画レベルで動かせるのでそれでいいという判断なのか、その辺をぜひ事務局でご検討いただきたいと思います。

首長のほうに対し、下から上げていきながら、首長さんの考えを引き出すといったところをぜひやっていただきたいと思います。

例えば、私は他の自治体でも総合計画の策定に関わっているのですが、一番長い期間設定でいうと市川市は25年という計画を作っています。それを9年8年8年という形で、三つの時期に分けるという考えです。

なぜ25年かという、カーボンニュートラルという視点で、脱炭素を地域レベルできちんと達成するという目標を掲げた中で、9年8年8年でその中を、また前期後期に分けるといったような計画づくりをしています。

逆に長い期間設定で作ったことによって、構想の考え方といったところで、どういう思いをはせたらいいかなかなか決まらないということがございましたが、市川市がどっちを向いているかということについて、非常に明確な意思疎通が図れたいい例かと思います。

先ほどの事務局からの説明で、この委員の皆様方で、第5次総合計画の後期の評価をしな

がら、第6次総合計画の策定をしていくとの話がございました。

裾野市でやっている例として、総合計画を策定したら委員はそこで解散になります。あくまで一例で、だから八千代市でも解散しなさいということではありません。

解散した後に、推進協議会とその中の評価委員会というのができます。評価委員会を作ることによって、まず今回ご指摘いただいたような、どれだけの単年度事業とか、目標達成しているかといったことを評価委員会のメンバーが改めて全部見直して、単年度チェックをずっとやっていき、最後に、総合計画が進んでいるかいないかの計画の評価をした上で、これはこの部分ができているから改善してくださいという答申を市長にあげる、こういったような方向性を持った審議会として動いています。

結局それが、今度は総合計画策定の委員会に移り替わっちゃうので、何かだまし討ちにあったような感じがしないでもないですが、自分がちゃんと口を出したのだから最後まで責任を持つというアプローチを取っています。

それから、市原市さんでは、首長の思いが非常に強くて、これはスプリング、サマー、オータムと、それぞれセミナーのような形で首長から、企画部を初め、事務局の人たちに、こういう想いでやりたいということを情報発信をします。

その情報発信をつなげたことを、市政方針演説の中に全部年度ごとに組み込み、それが総合計画の位置付けの中に入れていったものが、総合計画審議会に戻ってくるというアプローチをとっています。

それは、首長の思いがものすごく強く表れてきて、それが本当にこの市の姿勢にとっていいのかということ、総合計画審議会の委員の人たちが1人ずつ、自分の分野の中で、ここは行き過ぎだとか、あるいはもっと足りないといったところを議論するというところもございます。

それから我孫子市では、理系の教員と文系の教員がそれぞれ総合計画審議会の委員を半分ずつ分けて受け持って、ハード分野とソフト分野をそれぞれ議論して、全体協議会という形で全体の意見交換をします。コンサルタントが入らない会議でございますので、市の職員が、総合計画の策定を全部することになります。

それぞれの、ハード系とソフト系で上がってきたものを合わせて、それに対して今度は首長が一問一答の意見交換会をやった上で、計画を策定するというところもあります。

どれが正解ということはありません。

八千代市はどういうスタンスでやるのかといったところのポリシーをぜひ次の改定に向けて、八千代市では、南側は都市計画区域の中の市街化区域を中心としたまちづくり、東西方向には鉄道であるとか道路が広がって行って、でも北部のほうは、農地や点在する住宅地があるという状況です。

そういった中の高齢化の問題だとかいろいろなものが出てくるとは思いますが、そういった形の中を、どういう時間軸で都市構造を作るのかといったところも含めて、市の将来のベクトルを引くといったときに、どういう時間軸の設定がいいのか、あるいは、地域に入ると

したらどういふアプローチを取り、展開をしたらいいのか。

さらにこのワークショップベースで、先ほど市原市の首長の話をしてきましたが、1年間1,700人の人達と、市長が自らいろいろな地域を回って、聞いた意見を全部挙げて、それを言葉集としてまとめて計画策定をするようなアプローチを取っている自治体もあります。

やり方はいろいろですので、八千代市はこういうスタンスで、こういう方向性を持った形のものを作りますというような話を、ぜひ事務局から提案をしていただきたいと思います。

ルーチンの形でやるのが一番楽ですが、八千代市の将来を見たときに、ルーチンのものでいくのであれば、こういう点が良いのでぜひやってくださいということをお納得させていただけるといい説明を持って伝えて欲しいです。

あるいは変えるのであれば、こういう方向性で変えたいけど、皆さまでどうでしょうという形で図っていただきたいと思います。私のほうで話が長くなりましたけれども、そういった想いをぜひ事務局の方には丁寧に組んでいただけるとありがたいなと思います。

少し長くなりましたが、事務局へのお願いでございます。

それに関連して何か付随して、皆様方の話は止めませんので話がある方はいらっしゃいますか。

事務局どうぞ。

#### ○事務局（古市副主幹）

先ほど八巻委員の方からご質問いただきましたLED化について補足させていただきます。

資料3の5ページ目の、12番13番の小学校管理事業、中学校管理事業のLED化の照明について、事業費が400万円と250万円で済むのかというご質問の趣旨だったと思います。今こちらのほうで確認しましたところ、LED照明は賃貸借契約になっておりまして、工事自体は先ほど岩田が申し上げたとおり令和8年度中に終わる予定なのですが、月額で小学校に関しては17校で440万円、中学校に関しては11校で250万円という形になっておりまして、たまたま令和9年3月から賃貸借が始まるので、こちら10年間の契約として、教育委員会で予算化を図ったものになります。

そのため事業費に関しては月額、内容としてはリースという形になりますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

以上となります。

#### ○藤井会長

それ以外は皆さまよろしいでしょうか。

はい、鑑水委員どうぞ。

○鎌水委員

前は一人一人自由意見の時間を設けていただいていたのですが、本日はそのような時間は取らないでしょうか。

○藤井会長

本日の会議では、ご意見がある方は自由にどうぞというスタンスを取っているのですが、発言がある方はどんどん言っていただければと思います。

○鎌水委員

教職員の過剰勤務が近年問題になっておりますが、こんなことも学校の先生がやらなければいけないのかと思うことがいろいろありまして、その中の一つをお話させていただきます。

私は長いこと八千代市芸術文化協会でも書道に関わっております。学校にも書写教育というものがあまして、学校の書写教育のほか、クラブ活動や地域の書道教室というのがあります。私も書道教室を主催しておりますが、本日話題にしたいのは、「千葉県小・中・高校席書大会について」との文書が学校を回っている件についてでございます。この席書大会というのは、家で書いてくるとかそういうことではなくて、その場で書いたものを評価するという大会です。

この大会は、学校教育とは別で、複数ある書道団体のうちのある1団体が行っている全国行事です。その行事の案内が学校から配られたという点について、1団体の行事に学校が関わるといふことに対して現場が戸惑っているというのが、子供や子供の親を通して耳に入りますので、こういうことを学校現場に求めていいのかなということでお話しました。

今日は八千代市じゃなくて、船橋市で配られたプリントを用意してきておりますので、ご覧いただきたいです。

そもそも、学校の書写教育で勉強していることと外部の書道教室で勉強していることはレベルが全然違います。学校では、例えば半紙に2文字書くことしか勉強していないのに、この席書大会の課題は半紙に4文字書くことを要求されるといった場合に、当然学校としては対応できないので、チラシだけを配って、参加したい人はどうぞと親に振るわけですよ。

参加したい人はどうぞと言うくらいはいいと思いますが、その後、お金を添えて学校がそれを回収して、まとめてこの団体に送るといふのが、学校の先生がすべきことなのだろうかと思っておりますので、学校の先生方の教育以外の雑務を軽減するという意味でお話した次第です。

また、数ある団体の中の一つの団体の行事に学校が乗るといふこと自体もどうなのかというのを思います。

学校の現場では、そういった案内文の配布をやるかやらないか、職員会議で決めるのです

が、ある学校はやらないと決めたのに、隣の学校ではやると決めた場合、それが保護者の方に伝わったときに、保護者から案内文の配布はやらないのですかと声をかけられることとなります。毅然として、うちの学校ではやりませんと言える学校と言えない学校があつて、職員会議で決めたことを保護者の要請で切り換えるケースもあるそうです。ただその場合、配布が遅れてスタートするため、期間が迫っているのに、1枚だけ変えて出すといった何の教育的価値があるのだろうかというような状況に直面しておりますので、こういった事象を学校単位ではなくて教育委員会の方針として決めてもらったほうが楽だという話があります。そういう学校現場に外部の行事、しかもお金を払って参加するような外部の行事を持ち込んで、学校の先生に雑務をお願いするというのは良くないのではないかと思います、お話ししました。

よろしく申し上げます。

#### ○藤井会長

はい、ありがとうございます。情報提供というところがまず第一歩ということと、教育委員会が絡む話になってくるのかなといったところでございます。

総合計画審議会の中の事業計画といったところと直結はしないですが、そういった中で子供が学ぶというその育成の中で、みんなで動いているものをどう組み込んでいくのかという、その辺の枠組みといったものがきちんと市のスタンスとしてとれるかどうか、そういったところの問題提起があつたということは、ぜひ事務局から、関連する教育委員会を含めて、情報共有していただければと思いますので、必要であれば事務局のほうで資料もコピーしていただいて、ご提示いただければと思います。

その他よろしいでしょうか。

無いようですので、以上をもちまして、本日の会議を終了したいと思います。

どうもありがとうございました。